

中小企業景況調査報告書

2023年 10月～12月期 実績

(2024年 1月～3月期 予測)

調査実施時点 : 2023年11月15日

京都府商工会連合会

《 目 次 》

1. 中小企業景況調査の概要	2 頁
2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】	3 ~ 4 頁
3. 各業種の景況	
(1) 製造業の景況	5 ~ 6 頁
(2) 建設業の景況	7 ~ 8 頁
(3) 小売業の景況	9 ~ 10 頁
(4) サービス業の景況	11 ~ 12 頁

D・I とは (景気動向指数)

この報告書の中で用いている「**D・I 指数**」とは、ディフュージョン・インデックスの略で、企業経営者の景気の波及度合いを表す指標として、利用されています。

《算出方法》

前年同期に比べて、

$$\frac{\text{『増加』回答企業の割合}}{\text{(上昇・好転等)}} - \frac{\text{『減少』回答企業の割合}}{\text{(低下・悪化等)}} = \text{D・I}$$

D・I が、**プラス (+)** 値 …… 強気 (楽観) を表す。

D・I が、**マイナス (-)** 値 …… 弱気 (悲観) を表す。

例えば、売上が前年同期比で、

『増加』回答企業 50%、『不変』回答企業 30%、『減少』回答企業 20% の場合、

$$\text{D・I 指数は、} \quad 50\% - 20\% = 30\%$$

となり、経営者の売上に対する業況観が、強気気運であることを表しています。

1. 中小企業景況調査の概要

この調査は、商工会地域の産業の状況、地域の経済動向等について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速かつ的確に収集把握して、経営改善普及事業の効果的な指導資料にするために、全国商工会連合会が実施する調査に連携し、府内の状況を取りまとめたものです。

調査要領、本年度の調査対象商工会及び、調査回答企業数・対象業種別構成の内訳は次のとおりです。

(1) 調査対象期間

2023年10月～12月期を対象とした。

調査実施時点 …… 11月15日(水)

調査期間 …… 11月1日(水) ～ 11月15日(水)

(2) 調査の方法

(イ) 商工会の経営支援員の訪問による面接調査とした。

(ロ) 調査対象商工会の選定は、管内ごとの市町村人口を勘案し、又、調査対象企業の抽出は、各業種・規模等の有意抽出法とした。

(3) 調査対象商工会

京丹後市商工会、与謝野町商工会、京丹波町商工会、南丹市商工会、向日市商工会、大山崎町商工会、井手町商工会、宇治田原町商工会、八幡市商工会、木津川市商工会、和束町商工会、長岡京市商工会、京田辺市商工会、久御山町商工会、笠置町商工会、精華町商工会、南山城村商工会、京北商工会、福知山市商工会、伊根町商工会

(計20商工会)

(4) 対象業種別構成 及び 回答企業数

業種	調査対象企業数	構成比	回答企業数	回答率
製造業	36	20.0%	36	100.0%
建設業	24	13.3%	24	100.0%
小売業	52	28.9%	50	96.2%
サービス業	68	37.8%	67	98.5%
【合計】	180	100%	177	98.3%

2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】

《概要》

物価上昇の中で先行き不透明な景況

円安や、物価上昇などの不確実性が残る中、今期の売上DIは全産業平均で対前期比9.8ポイントの悪化(前期▲2.7ポイント→今期▲12.5ポイント)となった。

内訳は、製造業が5.5ポイントの悪化(前期▲5.6ポイント→今期▲11.1ポイント)、建設業が33.3ポイントの悪化(前期12.5ポイント→今期▲20.8ポイント)、小売業が6.5ポイントの悪化(前期▲32.7ポイント→今期▲39.2ポイント)、サービス業が6.0ポイントの改善(前期15.2ポイント→今期21.2ポイント)となった。

採算DIは、全産業平均で対前期比3.0ポイントの改善(前期▲30.8ポイント→今期▲27.8ポイント)となり、内訳は、製造業は8.9ポイントの悪化(前期▲11.1ポイント→今期▲20.0ポイント)、建設業が0.1ポイントの悪化(前期▲29.1ポイント→今期▲29.2ポイント)、小売業が9.1ポイントの改善(前期▲45.1ポイント→今期▲36.0ポイント)、サービス業が11.8ポイントの改善(前期▲37.9ポイント→今期▲26.1ポイント)となった。

来期の見通しとしては、売上DIが全産業平均で0.5ポイントの悪化(今期▲12.5ポイント→来期見通し▲13.0ポイント)、採算DIでは全産業平均で1.5ポイントの悪化(今期▲27.8ポイント→来期見通し▲29.3ポイント)となっている。

業種別景況指標(景気の天気図)では、製造業がやや悪化、建設業がやや悪化、小売業が悪化、サービス業がやや好転となった。

採算の来期見通しは、製造業が2.8ポイントの悪化(今期▲20.0ポイント→来期見通し▲22.8ポイント)、建設業が12.5ポイントの悪化(今期▲29.2ポイント→来期見通し▲41.7ポイント)、小売業が2.0ポイントの改善(今期▲36.0ポイント→来期見通し▲34.0ポイント)、サービス業が7.6ポイントの改善(今期▲26.1ポイント→来期見通し▲18.5ポイント)となっている。

業種別景況指標 (景気の天気図)

※天気図は売上DI

	R4年		R5年				R6
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月(見通)
製造業							
建設業							
小売業							
サービス業							

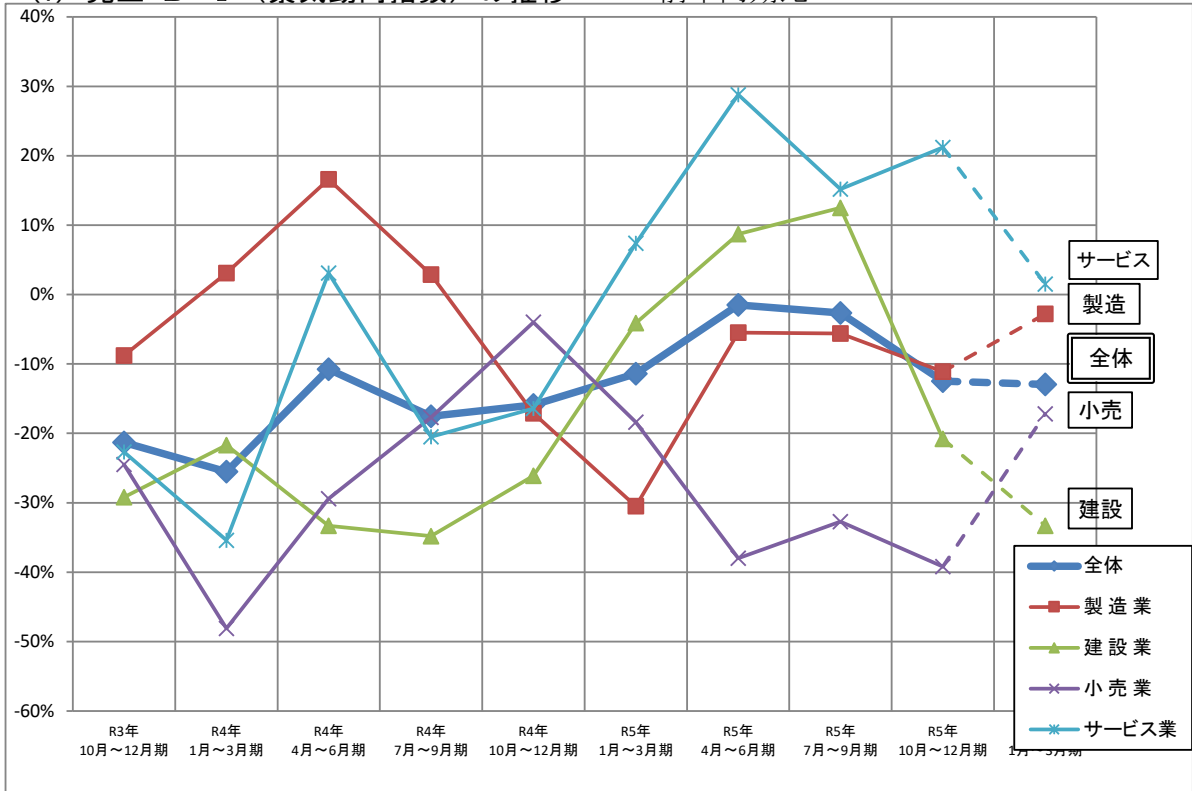
天気図のよみ方

D・I	100.0 ～50.1	50.0 ～25.1	25.0 ～0.1	0.0 ～▲25.0	▲25.1 ～▲50.0	▲50.1 ～▲100.0
指標						
内容	特に好転	好転	やや好転	やや悪化	悪化	特に悪化

2. 京都府内商工会地域産業の景況【総括】

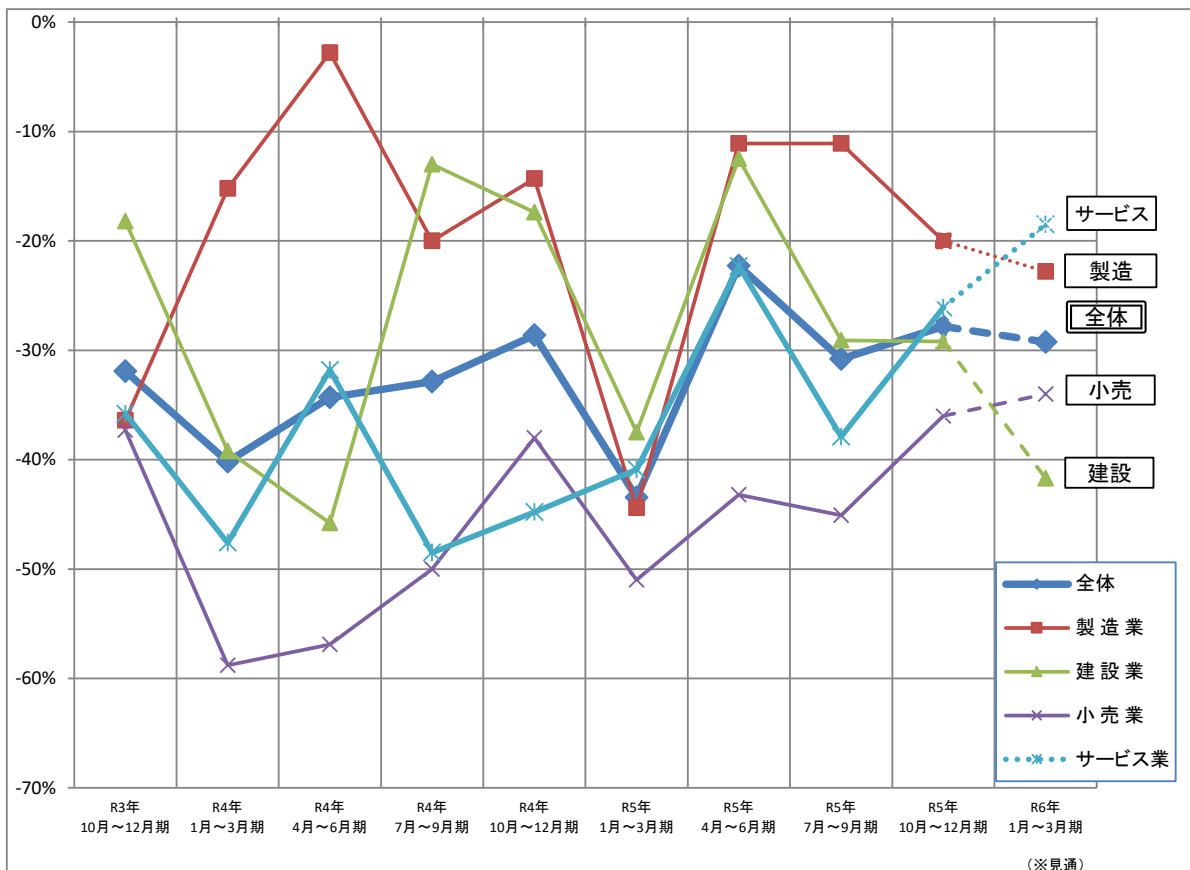
《売上と採算の推移》

(1) 売上 D・I (景気動向指数) の推移 —前年同期比—



(※見通)

(2) 採算 D・I (景気動向指数) の推移 —前年同期比—



(※見通)

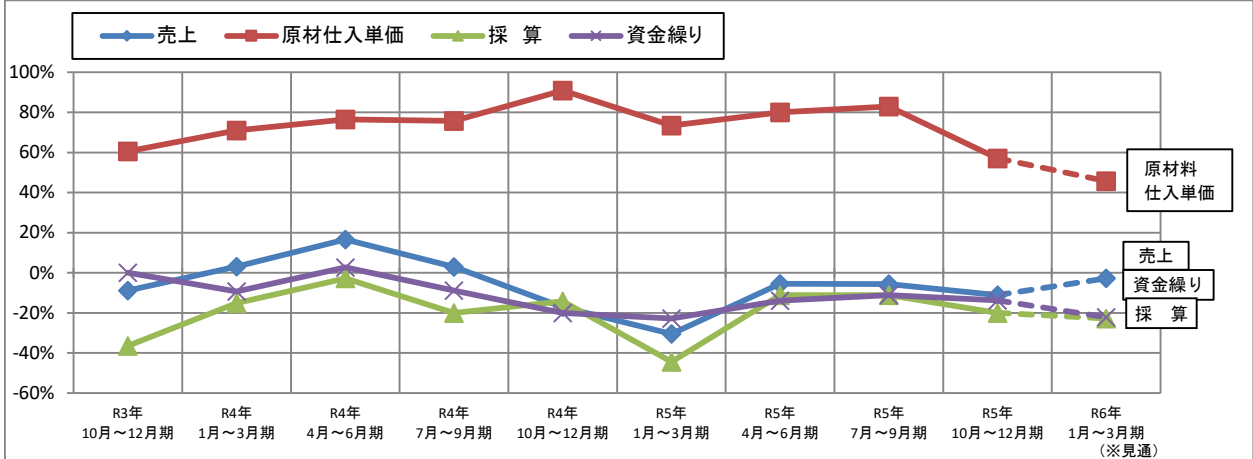
3. 各業種の景況

(1) 製造業

① 製造業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 —前年同期比—

製造業	R4年		R5年				R6年
	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期
売上	▲ 17.1%	▲ 30.5%	▲ 5.5%	▲ 5.6%	▲ 11.1%	▲ 11.1%	▲ 2.8%
原材仕入単価	90.9%	73.5%	80.0%	82.9%	57.1%	57.1%	45.7%
採算	▲ 14.3%	▲ 44.4%	▲ 11.1%	▲ 11.1%	▲ 20.0%	▲ 20.0%	▲ 22.8%
資金繰り	▲ 20.0%	▲ 22.8%	▲ 13.9%	▲ 11.1%	▲ 13.8%	▲ 13.8%	▲ 22.2%

来期予測



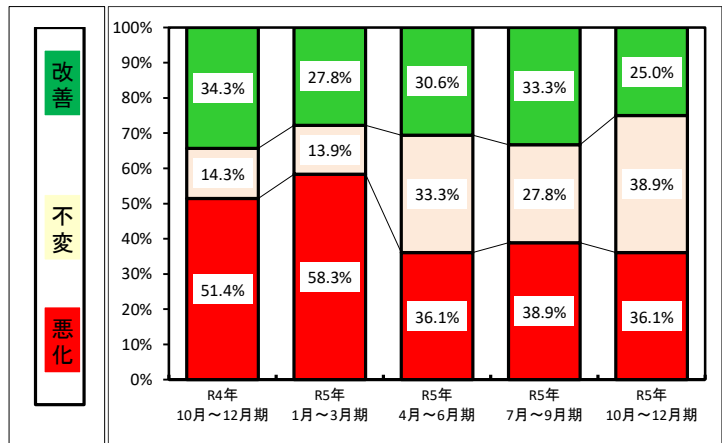
売上 …… ▲ 11.1 ポイント
(前期比 5.5 ポイント悪化)

仕入単価 …… 57.1 ポイント
(前期比 25.8 ポイント悪化)

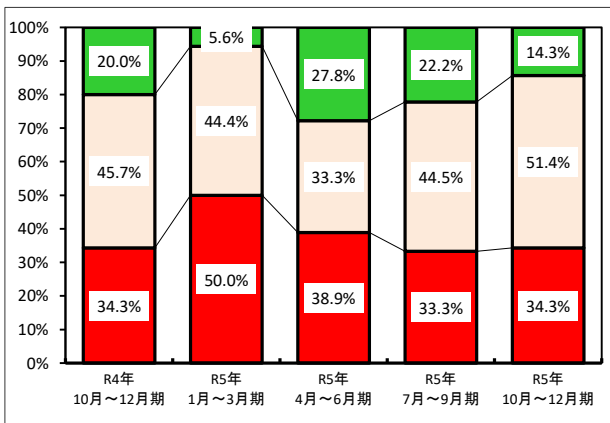
採算 …… ▲ 20.0 ポイント
(前期比 8.9 ポイント悪化)

資金繰り …… ▲ 13.8 ポイント
(前期比 2.7 ポイント悪化)

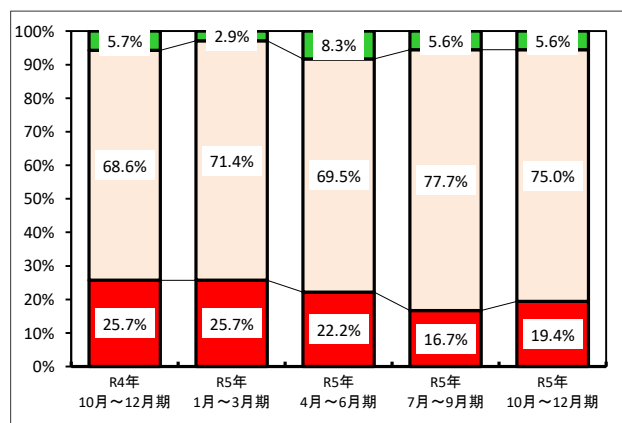
※『売上(加工)』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



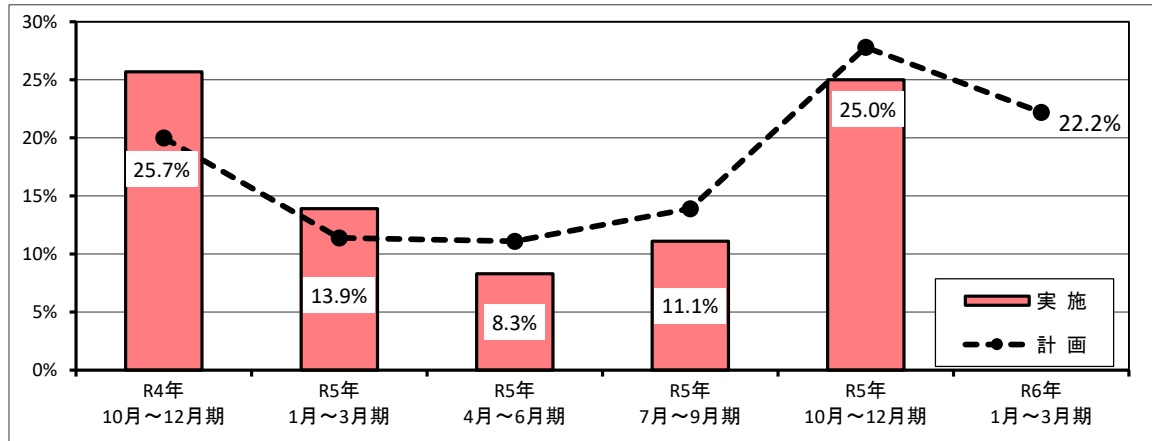
3. 各業種の景況

(1) 製造業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

今期の設備投資の実施状況は、25.0%（前期比13.9ポイント改善）であった。

製造業	R4年		R5年				(計画) R6年	
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	
土地	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
車両・運搬具	22.2%	20.0%	0.0%	50.0%	11.1%	25.0%	75.0%	
生産設備	33.3%	40.0%	66.7%	25.0%	66.7%	22.2%	22.2%	
設備投資の実施	25.7%	13.9%	8.3%	11.1%	25.0%			

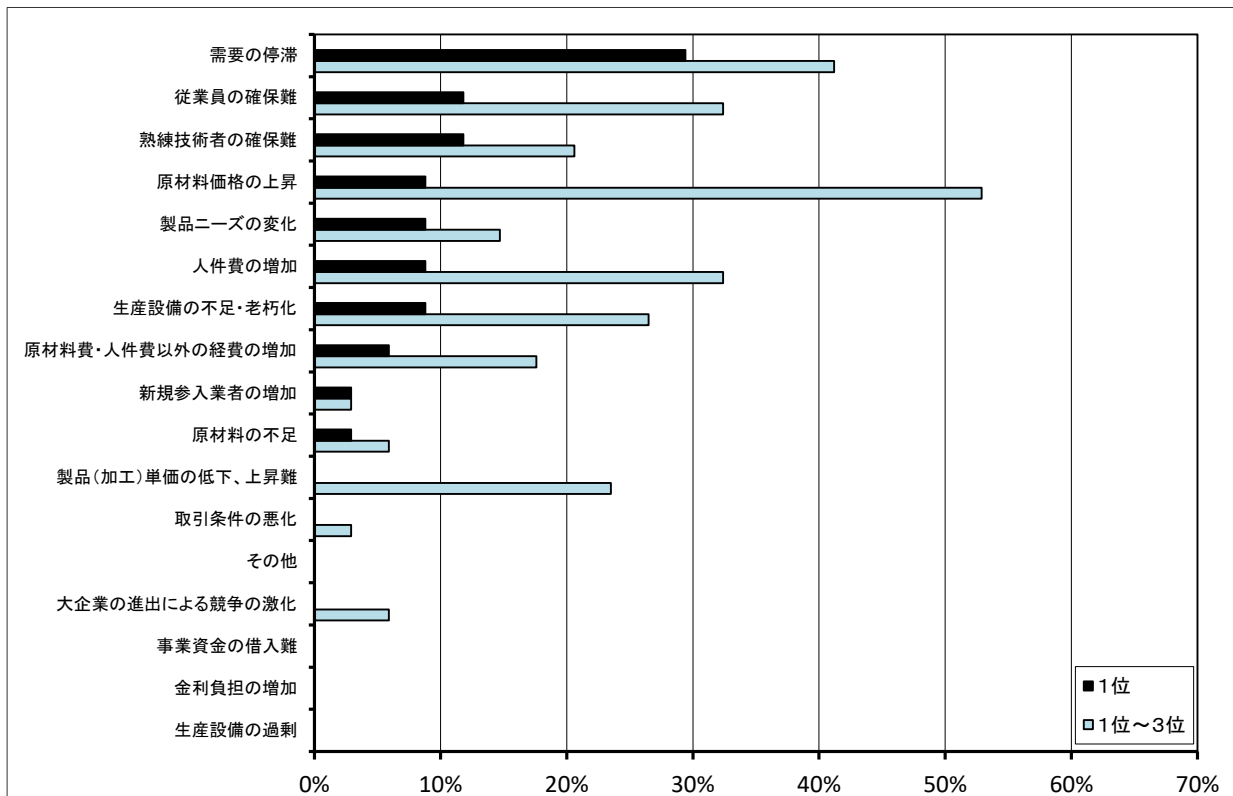


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「需要の停滞」「従業員の確保難」「熟練技術者の確保難」が上位となった。

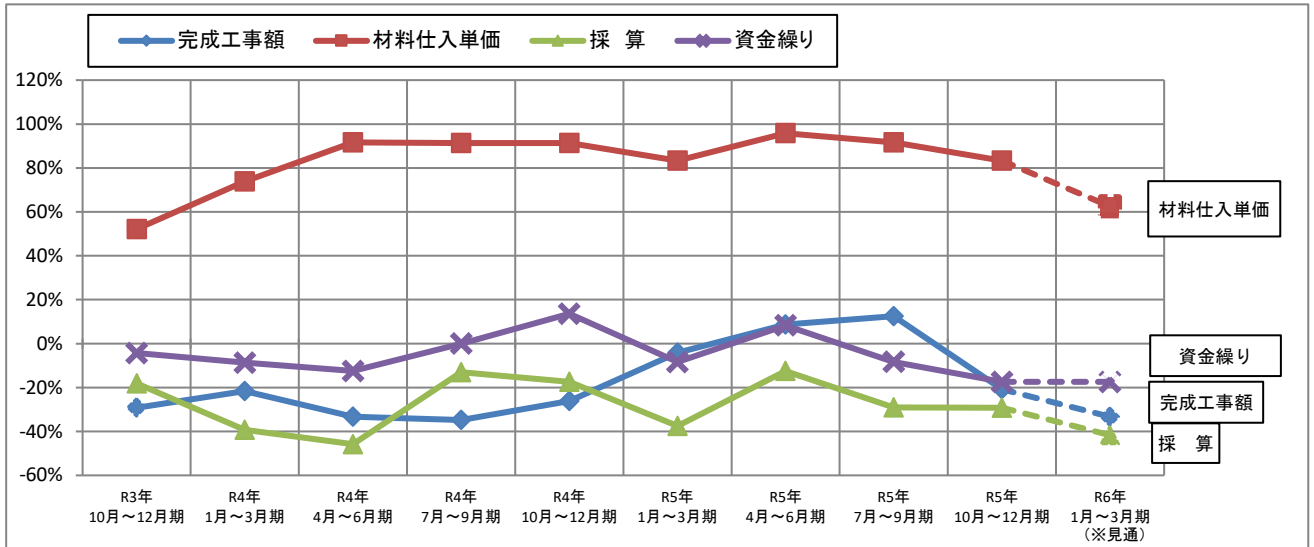


3. 各業種の景況

(2) 建設業

① 建設業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 ー前年同期比ー

建設業	R4年					R5年					来期予測
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期
完成工事額	▲ 26.1%	▲ 4.1%	8.7%	12.5%	▲ 20.8%	▲ 33.3%					▲ 33.3%
材料仕入単価	91.3%	83.3%	95.8%	91.7%	83.3%	62.5%					62.5%
採算	▲ 17.4%	▲ 37.5%	▲ 12.5%	▲ 29.1%	▲ 29.2%	▲ 41.7%					▲ 41.7%
資金繰り	13.6%	▲ 8.4%	8.3%	▲ 8.3%	▲ 17.4%	▲ 17.4%					▲ 17.4%



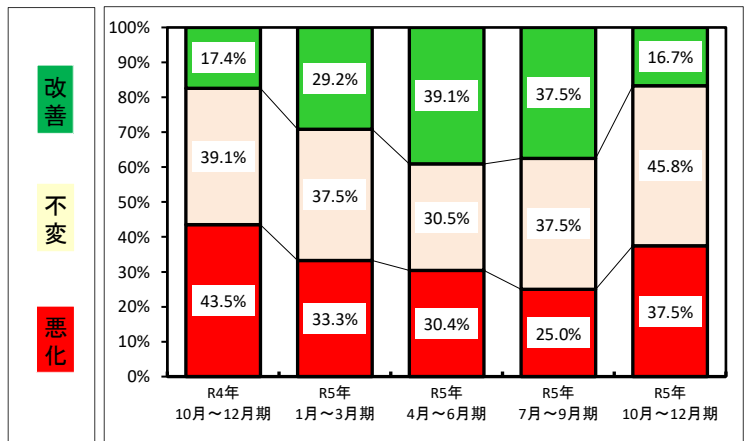
完成工事額 .. ▲ 20.8 ポイント
(前期比 33.3 ポイント悪化)

仕入単価 83.3 ポイント
(前期比 8.4 ポイント悪化)

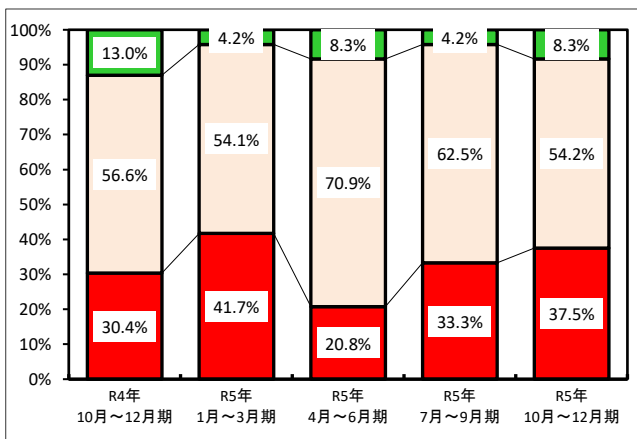
採算 ▲ 29.2 ポイント
(前期比 0.1 ポイント悪化)

資金繰り ▲ 17.4 ポイント
(前期比 9.1 ポイント悪化)

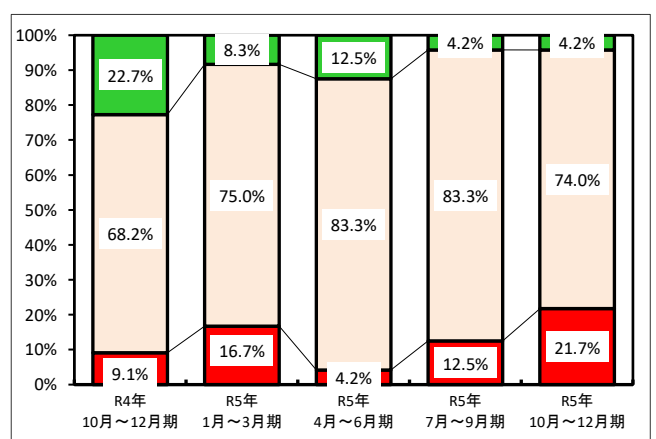
※『完成工事額』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



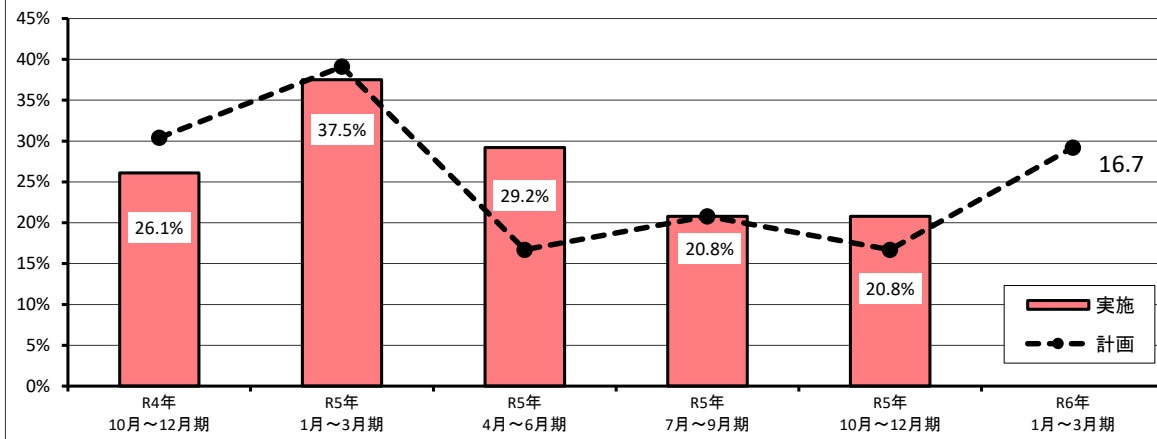
3. 各業種の景況

(2) 建設業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資の実施状況は変化なしであった。

建設業	R4年		R5年			(計画) R6年
	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	1月～3月期
土地	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	28.6%
車両・運搬具	50.0%	11.1%	71.4%	40.0%	60.0%	28.6%
建設機械	16.7%	33.3%	42.9%	60.0%	20.0%	71.4%
設備投資の実施	26.1%	37.5%	29.2%	20.8%	20.8%	29.2%

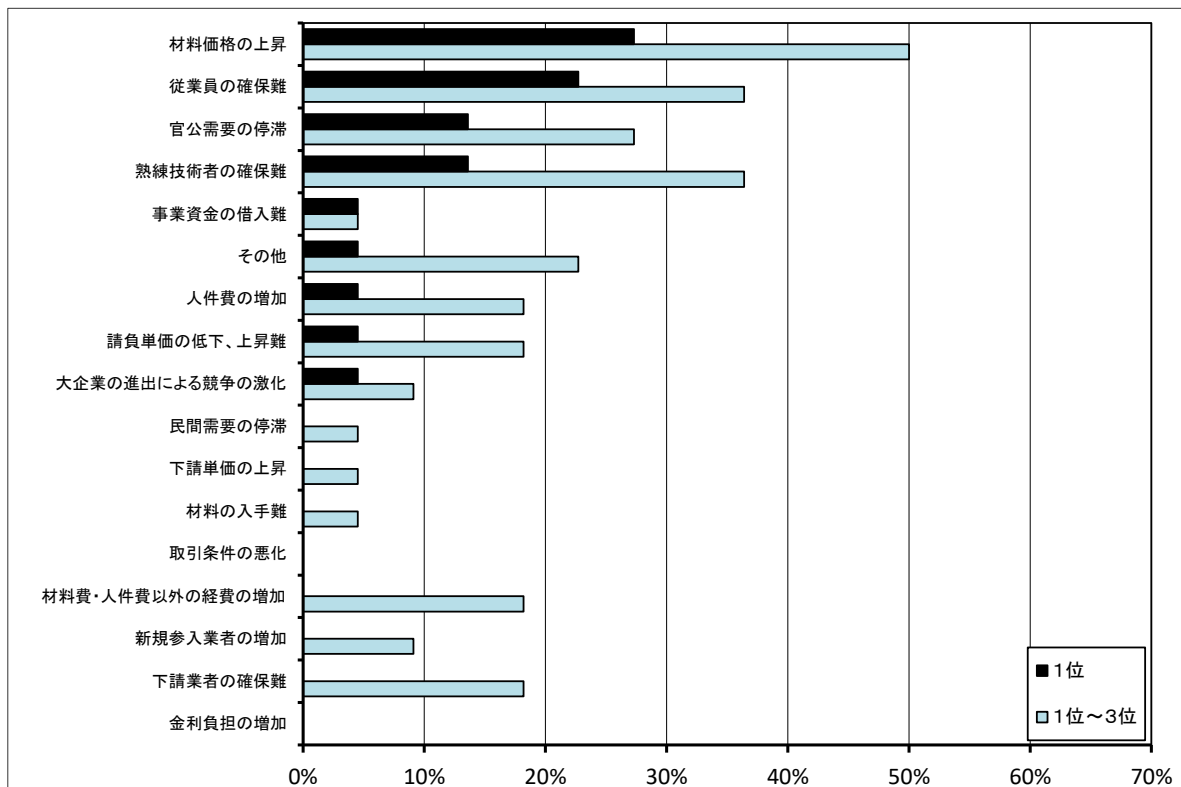


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「材料価格の上昇」「従業員の確保難」「官公需の停滞」が上位を占めた。

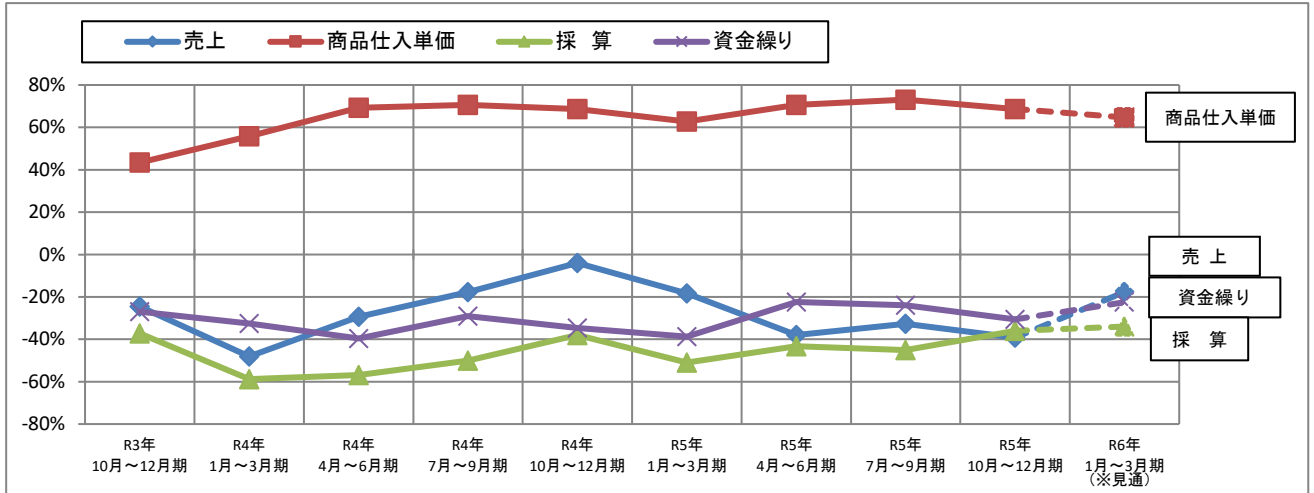


3. 各業種の景況

(3) 小売業

① 小売業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 —前年同期比—

小売業	R4年		R5年				来期予測
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	R6年 1月～3月期	
売上	▲ 4.0%	▲ 18.4%	▲ 38.0%	▲ 32.7%	▲ 39.2%	▲ 17.7%	
商品仕入単価	68.6%	62.7%	70.6%	73.1%	68.7%	64.7%	
採算	▲ 38.0%	▲ 51.0%	▲ 43.2%	▲ 45.1%	▲ 36.0%	▲ 34.0%	
資金繰り	▲ 34.7%	▲ 38.8%	▲ 22.4%	▲ 24.0%	▲ 30.6%	▲ 22.5%	



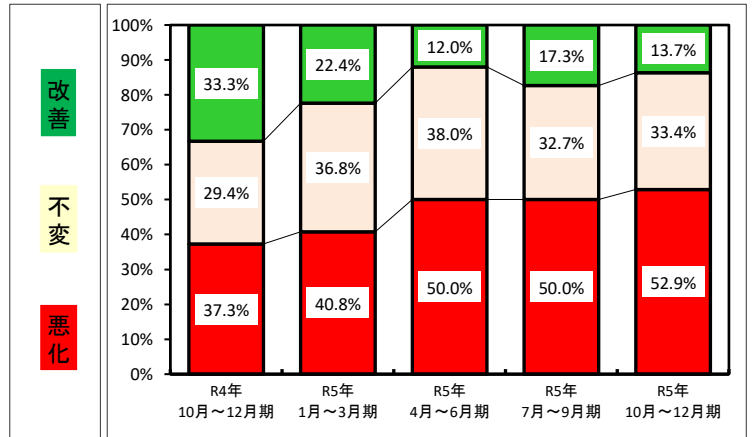
※『売上』の状況 前年同期比 (D・I 値)

売上 …… ▲ 39.2 ポイント
(前期比 6.5 ポイント悪化)

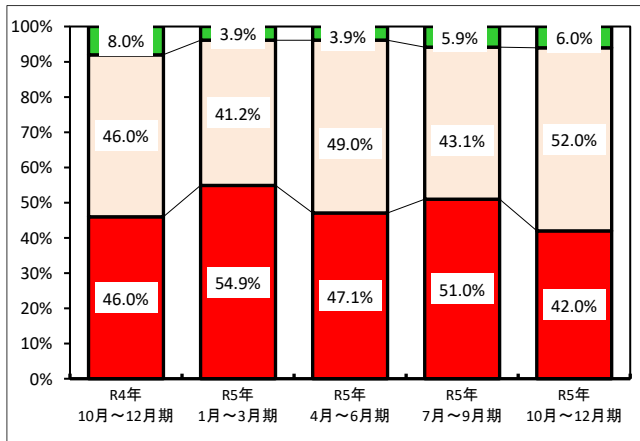
仕入単価 …… 68.7 ポイント
(前期比 4.4 ポイント悪化)

採算 …… ▲ 36.0 ポイント
(前期比 9.1 ポイント改善)

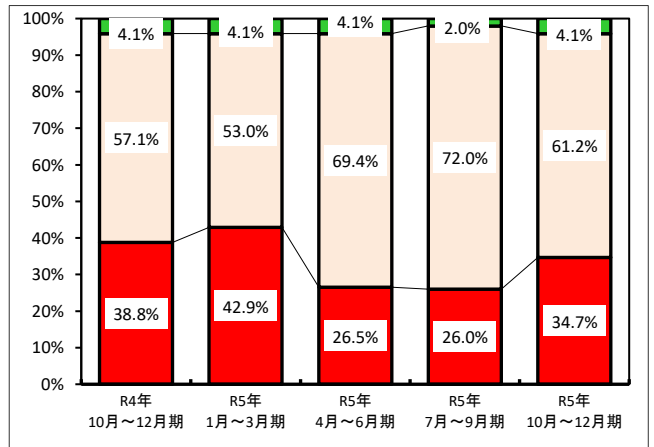
資金繰り …… ▲ 30.6 ポイント
(前期比 6.6 ポイント悪化)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



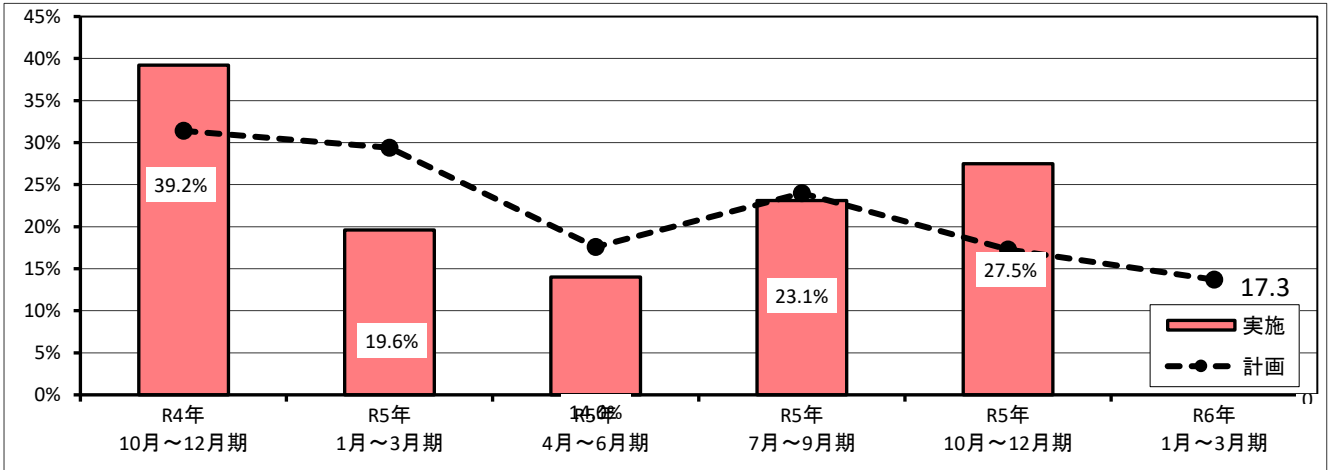
3. 各業種の景況

(3) 小売業

② 設備投資の状況(当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計)

設備投資を実施した企業数の割合は27.5% (前期比4.4ポイントの改善) であった。

小売業	R4年	R5年				(計画) R6年
	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期
土地	0.0%	10.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%
車両・運搬具	20.0%	10.0%	0.0%	16.7%	7.1%	57.1%
販売設備	55.0%	40.0%	42.9%	41.7%	42.9%	57.1%
設備投資の実施	39.2%	19.6%	14.0%	23.1%	27.5%	13.7%

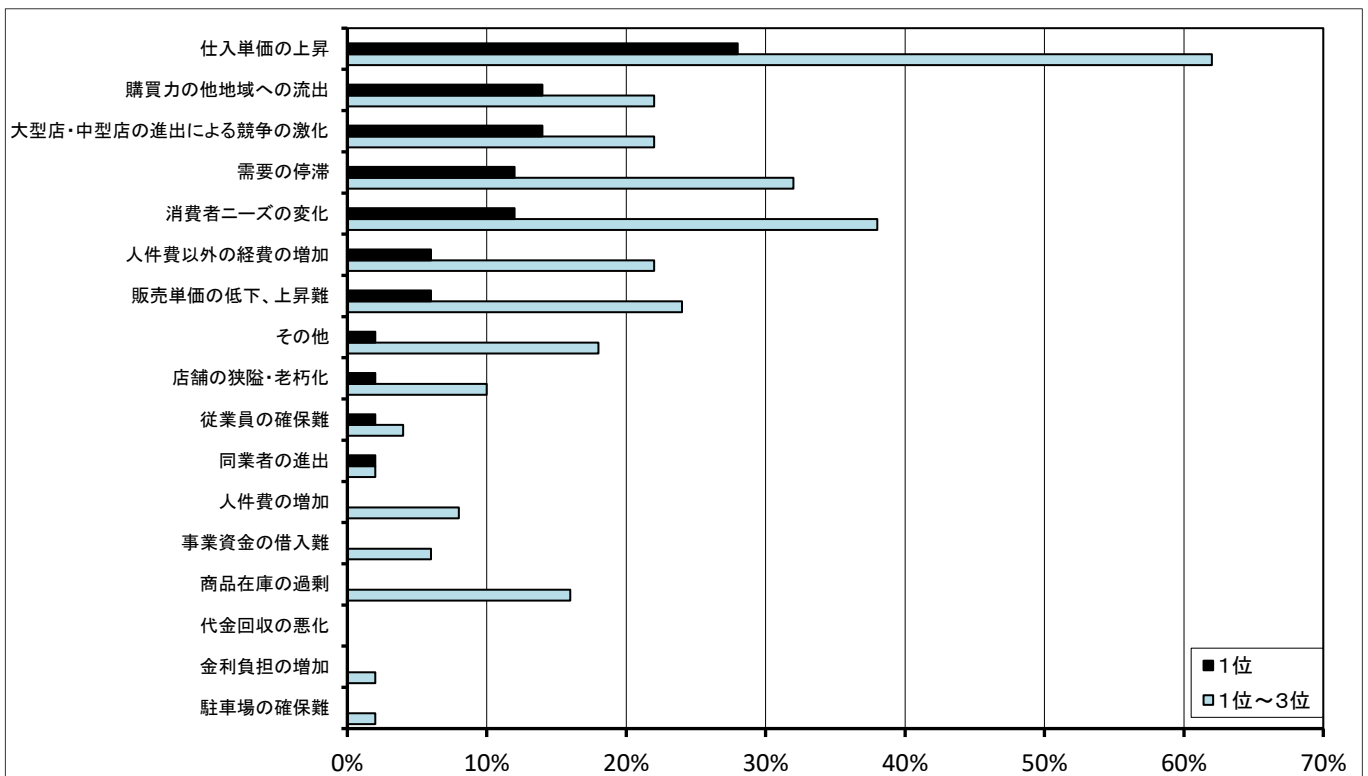


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「仕入単価の上昇」「購買力の他地域への流出」「大型店・中型店の進出による競争の激化」が上位となった。

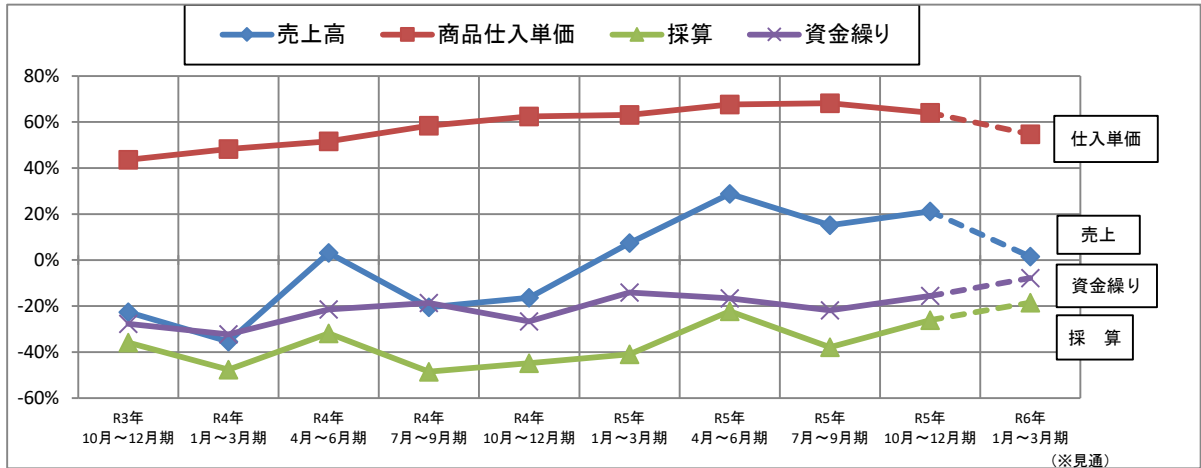


3. 各業種の景況

(4) サービス業

① サービス業 D・I 値 (景気動向指数)の推移 ー前年同期比ー

サービス業	R4年		R5年				来期予測
	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	R6年 1月～3月期
売上	▲ 16.4 %	7.4 %	28.8 %	15.2 %	21.2 %	21.2 %	1.5 %
仕入単価	62.5 %	63.1 %	67.7 %	68.2 %	64.0 %	64.0 %	54.7 %
採算	▲ 44.8 %	▲ 40.9 %	▲ 22.3 %	▲ 37.9 %	▲ 26.1 %	▲ 26.1 %	▲ 18.5 %
資金繰り	▲ 26.6 %	▲ 14.1 %	▲ 16.6 %	▲ 21.9 %	▲ 15.6 %	▲ 15.6 %	▲ 7.8 %



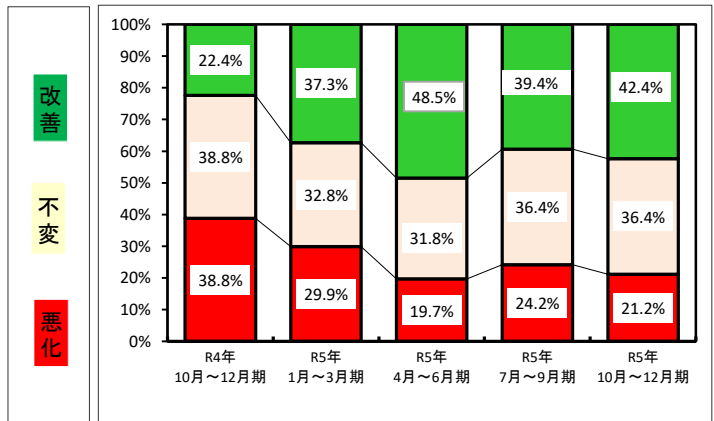
売上・・・ 21.2 ポイント
(前期比 6.0 ポイント改善)

仕入単価・・・ 64.0 ポイント
(前期比 4.2 ポイント悪化)

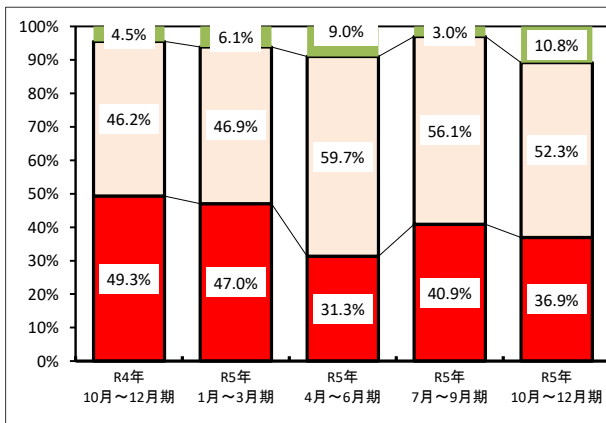
採算・・・ ▲ 26.1 ポイント
(前期比 11.8 ポイント改善)

資金繰り・・・ ▲ 15.6 ポイント
(前期比 6.3 ポイント改善)

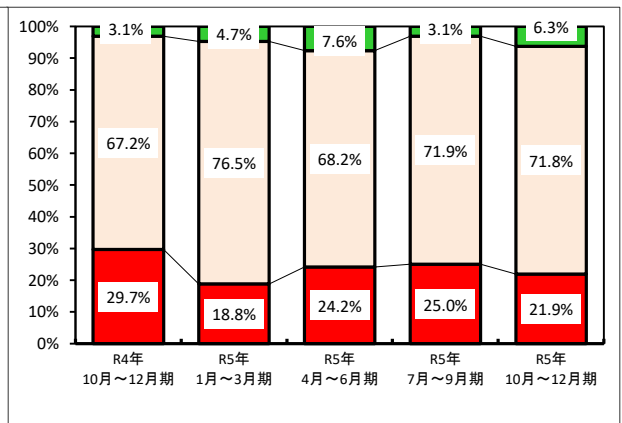
※『売上(収入)』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『採算』の状況 前年同期比 (D・I 値)



※『資金繰り』の状況 前年同期比 (D・I 値)



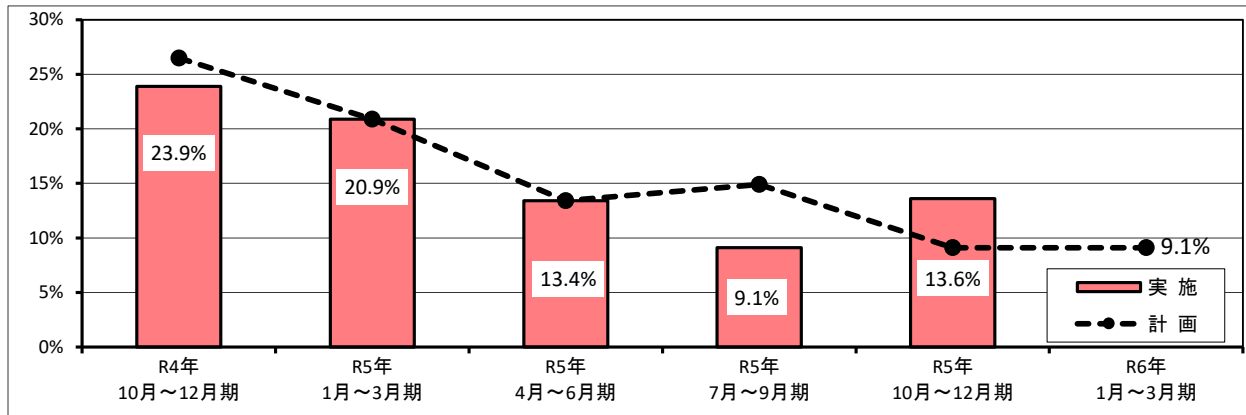
3. 各業種の景況

(4) サービス業

② 設備投資の状況（当期中に行った設備投資の実施状況と来期の実施予定を集計）

設備投資を実施した企業数の割合は13.6%（前期比4.5ポイントの改善）であった。

サービス業	R4年		R5年				(計画)
	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	R6年
土地	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1月～3月期
車両・運搬具	12.5%	14.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
サービス設備	37.5%	50.0%	55.6%	33.3%	11.1%	11.1%	66.7%
設備投資の実施	23.9%	20.9%	13.4%	9.1%	13.6%	13.6%	33.3%
							9.1%

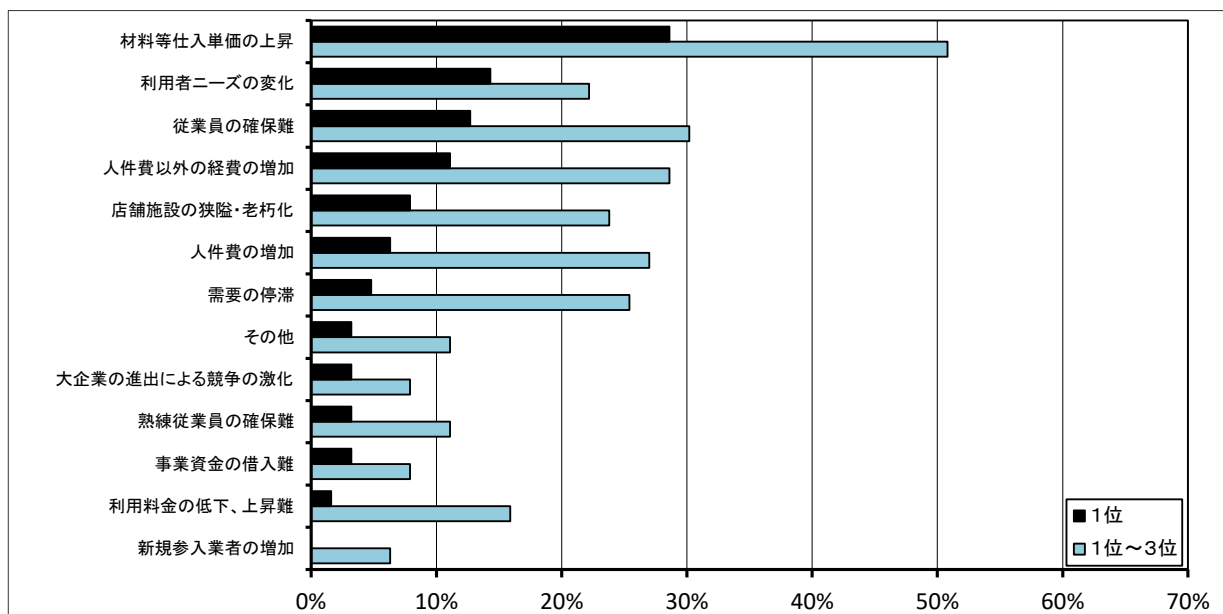


※ 計画については、調査実施時期を基準に翌期の予定を記入しているため、グラフに期の差が生じる。

③ 経営上の問題点

※ グラフ中の項目から1位～3位まで挙げられた問題点を1位及び1位～3位毎に集計を行った。

「材料等仕入単価の上昇」「利用ニーズの変化」「従業員の確保難」が上位となった。



京都府商工会連合会

600-8009 京都市下京区函谷鉾町78番地

京都経済センター 3F311号室

TEL : 075-205-5418

FAX : 075-343-0373

E-mail : office@kyoto-fsci.or.jp